

## 筑波大学附属坂戸高等学校の学校視察

令和7年11月21日(金)

令和7年11月21日(金)に埼玉県にある筑波大学附属坂戸高等学校（以後、筑波）に本校職員3名が訪問し、学校を視察してきました。坂戸高校はIB校として、2020年度に第1期生が卒業しており、入学から卒業まで多くの実績をあげている学校であり、本校の参考とするため今回視察をさせていただきました。

授業見学では、3年生のTheatreの授業を見学させていただきました。3年生は最終試験が終わった後でしたが、All EnglishでTheatreの授業を行っていました。日本語DPの授業は少なくとも2つは外国語で行う必要がありますが、本校でもどの教科で行うか検討を進めているところです。いろいろな学校に視察に行き、英語での授業を観させていただいている中、筑波でTheatreの授業を英語で行っている様子は大変参考になりました。また、1年生の社会、2年生の生物の授業も見学させていただき、生徒のプレゼンの様子や教員の役割などを実際に観ることができ、参考になる事ばかりでした。

校内見学では、理科室(左図)をはじめ、図書室、最終試験の保管庫が置いてある部屋などを観



させていただきました。これから本校で準備をしていかなければいけない部分を実際に見させていただくことで、イメージを持ちながら話し合いができるようになりました。

質疑応答の時間では、こちらから事前にお伝えした質問について、細かく教えていただくことができました。今まで不安に思っていたこと、これから整備しなければいけない事などを聞くことができました。また、筑波の副校長先生が作られた貴重な資料(下図)をいただくことができました。

今日の訪問では、多くの事を学ぶことができました。ここで学んだことをこれからのIB認定校に向けての準備に役立てていきます。

教頭 川村 一仁

